

## 東北復興 PSW にゆうす

早いもので今年も残すところあとわずか。当委員会でも全国大会の物販事業を終えると、復興支“縁”ツアーの準備が本格化します。今号はそれらの報告に加え、当委員会の動向なども踏まえてお届けいたします。

### 【長崎大会の物販報告】 一売り上げの一部を「被災地支援活動のための構成員等の募金活動」へ

去る9月14日から15日にかけて、第54回全国大会・第17回学術集会在長崎市で開催されました。当委員会では大会運営委員の全面的なご協力の下、「被災地障害者作業所等製品販売事業」（通称：物販）のブースを出展しました。大会運営委員会の皆さまにはこの場をお借りし、心より御礼申しあげます。



毎年恒例となったブース。懐かしい製品も並び「これ美味しいんだよね～」や新製品の陳列に「これ、前はなかったよね？」などの声も聞かれた他、この事業を通して、『常連さん』となった全国の仲間との再会にも華が咲く時間となりました。また、被災地の現在を知っていただくという一環で、当地の写真などをスライド化しブースでの上映も試みしました（＝アーカイブ化）。たくさん足を運んでくださり、ありがとうございました。

また、7月の西日本豪雨、台風第21号、北海道胆振東部地震などを代表するように、今年度は絶え間なく全国各地で災害が頻発しました。そのため、この事業を通して何か還元できるものはないか、製品を出品いただいた被災地事業所の皆さまとともに考え、売上の一部を当協会で開催している「被災地支援活動のための構成員等の募金活動」へ充てることにしました。皆さまのご厚意が全国への縁を紡いでいく＝「支縁」となりました。その事業報告を兼ね、全国の皆さまへ改めて感謝申しあげます。ありがとうございました。

### 【委員会活動報告】

#### 支援する人を支援する -縁を大切に-

当委員会は東日本大震災をきっかけに発足した委員会です。主に、①東北復興 PSW にゆうすの発行、②全国大会での物販、③復興支“縁”ツアーの企画などを手掛けています。風化予防という観点から考えれば、いずれも大切な事業です。しかし、そもその目的は何か？（当たり前ですが）当委員会では、その問いに対し毎回真剣に向き合っています。今年度、新規体制となったことを機に、10月21日開催の委員会で模造紙を使って半日以上かけ、揺らぎながらも実直かつ丁寧な話し合いを重ねました。

そこで確認されたことは原点復帰。私たちは、①支援者を支援することを、そして私たちらしく②縁（えん・ゆかり）を大切にしていくことです。これまでの委員会活動を通して、たくさんの叡智が集積されてきました。まだまだ復興とは言えない現実があります。しかし、これまでの実績を検証することは今後の災害に活かせるものを見出すことでもあります。限られた委員会数ですが、今期は、その一つひとつの検証作業にも取り組んで参る所存です。

### 【2019年3月開催！】

#### 復興支“縁”ツアー@福島

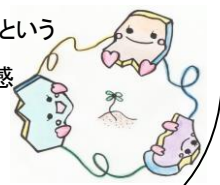
2019年3月、復興支“縁”ツアー@福島を開催します！

「10年が節目でしょ？」「2020年のオリンピックで復興をアピールするって話だよな？」など巷では色々な声が聞こえてきます。しかし、時間の経過＝復興なのでしょう？一人ひとりの生活、声なき声に寄り添う私たちは、時間軸に捉われることなく、本当に必要なものを、自分の五感を通して感じ、考えていくことが日々、求められているのだと思います。

震災後、福島では社会福祉士、MSW、ケアマネ、理学療法士、作業療法士などと合同研修を手弁当で開催してきました。昨年は、「被災地で地域包括ケアは成り立つのか？」という研修を開催し、県内外から80名ほどの参加者がありました。

今回のツアーはその第2弾！場所は相双という海沿いの地域になる予定ですが、皆さまの五感に訴える研修となるよう鋭意、準備中です。

詳細は次回のご案内をお待ちください！



★確認しておう★

今年も災害が頻発しています。震災被害のあった地域では余震も絶えません(東北でも未だにあります)。ところで皆さんは施設の非常口、また地域の避難場所・避難所は確認していますか？今回はそのロゴや意味をご紹介します。なお、避難所環境は関連死に直結します。また避難所に適応できない障がい者等が存在することを踏まえると私たちが真剣に、向き合っていかなければいけない問題です。その点も含め、改めて意識していただければ幸いです。

呼称	ロゴ	意味
非常口	 (白地ベース：矢印が緑)	・「通路誘導等」とも呼ばれる。 <u>非常口にたどり着くまでの通路・経路に設置</u> されている。 白地ベースなのは、停電の際に「照明としての役割」を担うことも期待されている。
	 (緑地ベース：矢印が白)	・「非常口誘導灯」とも呼ばれる。 <u>非常口のある場所、または、非常口それ自体</u> を示している。
避難場所		・身の安全を確保するため、 <u>緊急的に避難するための場所</u> 。
避難所		・学校、公共施設など <u>一定の期間、避難生活を送るために避難する施設</u> 。 ＊避難所は自治体によって指定され、 <u>段階的に開設</u> されます(指定避難所と言います)。テレビやラジオ、自治体のホームページ、SNS などから適宜確認しましょう(事前に確認しておきましょう)。

★表記例★



ひなんばしょ  
**避難場所**  
Evacuation area



こうみんかん  
**公民館**  
Public Hall

ひなんばしょ  
**避難場所**  
Evacuation area

ひなんじょ  
**避難所**  
Evacuation shelter

\*引用：防災タウンページ／【非常口マークの違い 知ってましたか？】防災食・非常口セットの防災グッズ.JP  
[http://www.food-material.co.jp/bousai/column/emergency\\_exit/](http://www.food-material.co.jp/bousai/column/emergency_exit/)

【ご意見・ご感想をお寄せください】

本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。FAX もしくは E-mail: office@japsw.or.jp で皆さまのお声をお聞かせください。

★題名に「PSW にゆうすについて」とご記入ください★